

No	補助 単 独	交付対象事 業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業実績(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					効果・検証	予算 区分	事業効果	
							総事業費 (実績額)	B 国庫 補助額 (円)	C コロナ交付金充当額 (円)	D 起債額 (円)	E 一般財源 (円)				F その他 (円)
合計							409,941,350	4,823,000	389,149,353		1,150,997	14,818,000		A (委員評価)	
1	単	ふるさとを 速くで見守る 事業	まちづくり 戦略課	①県外在住のつるぎ町出身者へ生活用品等を購入し送付することにより、本町への帰省抑制を促し、本町での新型コロナウイルス感染拡大防止に努める。 ②生活用品等の購入費及び送料 ③購入費9,741千円(5千円相当×1,979件) 送料1,919千円 ④県外在住のつるぎ町出身者、つるぎ町ふるさと会員	R2.5.12	R2.7.29	11,660,171		11,660,171				夏休み及びお盆前に、本町出身者1,979名に生活用品等を送り、帰省自粛をお願いすることにより、本町での感染が見られなかった。 また、お礼の手紙やふるさと納税での寄付をいただき、ふるさとを応援していただいた。	R2 補正 (地)	◎
2	単	防災活動等 支援事業	危機管理課	①・災害避難所用間仕切り、段ボールベッド、体温計、ポータブルトイレ、マンホールトイレ等を備蓄することにより、災害時に町が開設する避難所での感染を予防する。 ・町民へのマスクや消毒液の配布、庁舎内の飛沫感染防止用品やアルコールジェル等を設置することにより、平時において感染を予防する。 ②③ ・消耗品費 マスク(31,500枚)1,363千円 飛沫防止仕切り(99個)696千円 簡易トイレ100回分(20箱)263千円 トイレ除菌クリーナー(68台)306千円その他除菌液等771千円 計3,399千円 ・備品購入費 避難所間仕切り(10個)550千円 避難所テント(90個)1,002千円 段ボールベッド(80個)502千円 空気清浄機(8台)820千円 災害用マンホールトイレセット(3台)241千円 ポータブルトイレ(12台)317千円 トイレ用パーソナルテント(12張)285千円 災害時避難所用テント(4張)1,015千円 非接触型サーマルカメラ(3台)480千円 非接触体温計(36台)346千円 足踏み式消毒スタンド(11台)180千円 災害時避難所用ベッド(100台)1,375千円 災害時避難所用マット(180台)1,465千円 災害時避難所用資機材保管用物置(1棟)608千円 計9,186千円 ④地方公共団体	R2.4.10	R3.3.31	12,585,179		11,032,179		1,553,000		不織布マスクの流通が滞っている時期に、全世帯(1世帯当たり5枚)に配布し、公共施設等には消毒液、飛沫防止仕切り及びサーマルカメラ等を設置することにより、感染防止対策を行うことができた。 また、避難所での3密対策として、関連備品を整備し、コロナ禍における災害等に備えることができた。	R2 予備費 (地)	◎
3	単	安心教育 環境整備 事業	学校教育課	①幼稚園、小中学校及び放課後子ども教室等の教育活動等の再開にあたり、子どもたち、教職員及び保護者等に安心と安全を提供できるよう、新型コロナウイルスの感染防止対策と無理のない教育活動及び子ども達への学びの保障支援施策等を実施する。 ②感染防止対策:加湿空気清浄機の設置、布マスクの制作配布及び消毒清掃作業の支援。 新型コロナウイルスによる影響対策:教育行事の延期・中止によって発生したキャンセル料及び追加費用等の支援。 子どもたちの学びの保障対策:公立学校情報機器整備費補助金(GIGAスクール構想)つるぎ町単独事業分及びICT学習支援として小中学校に電子黒板の設置、夏期休業短縮により小中学校の給食費を無償化することに伴い発生する町負担給食材料等購入費。 ③加湿空気清浄機34カ所3,590千円、マスク制作(布地代金) 40千円、修学旅行等のキャンセル料1校10千円、遠足・校外学習時の3密対策にかかる追加費用4校1,005千円、公立学校情報機器整備費補助金(GIGAスクール構想(単独分))端末(単独分)7,556千円、ルーター(単独分)100千円、ウェブカメラマイク(単独分)57千円、端末・ネットワーク導通試験 3,300千円、電子データ保存用NAS整備281千円、電子黒板の整備(小中学校整備4校18教室)20,685千円、学校給食費無償化に伴う町負担給食材料等購入費(小学校3,342食分、中学校2,265食分)1,682千円 ④地方公共団体	R2.6.2	R3.3.25	38,306,474		38,306,474				学校における感染防止対策を行うことにより、安心安全を確保した教育活動が行えた。 ICTを活用した遠隔・オンライン授業等の実践に向けた環境整備を図ることができた。 学校休校に対応するため、夏休み期間の短縮を実施し授業を行ったが、その期間の学校給食費を無償化したことで、子育て世代の負担軽減が図られた。	R2 補正 (地)	◎
4	単	感染予防 対策給付金 事業	総務課	①新型コロナウイルス感染拡大防止のための、マスク、消毒液等の町民自らの購入に充てるため、一人あたり7千円を特別定額給付金事業に併せて給付。 ②町単独事業として、感染予防対策給付金を実施。 ③59,997千円(8,571人×7千円) ④つるぎ町民	R2.5.18	R2.8.25	59,997,000		59,997,000				マスク、消毒液の購入費用として給付を行ったことで、感染防止対策への意識が強まり、本町での感染が見られなかった。	R2 補正 (地)	◎

No	補助 単独	交付対象事 業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業実績(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					効果・検証	予算 区分	事業効果	
							総事業費 (実績額)	B 在庫 補助額 (円)	C コロナ交付金充当額 (円)	D 起債額 (円)	E 一般財源 (円)				F その他 (円)
5	単	つるぎ町 なりわい 応援給付金 事業	産業経済課	①(1)新型コロナウイルス感染症拡大のなかで、影響が特に大きい事業を営む 商工業者と、出荷を行っている農業者を対象に、収束後も事業を継続して いただくことを目的に支援を実施。 (2)国のセーフティネット認定を受けた事業者には、事業継続に対する支援 を実施。 (3)同感染症拡大防止対策を施し、空き店舗等を活用する新規出店者等に 対する支援を実施。 (4)新しい生活様式を取入れた生業として、リモートシステムを活用し、町の 産業を魅力的に伝えるために、対応する動画を作成する。 (5)高収益作物の次期作に前向きに取り組み農業者に対する支援を実施。 ②給付金及び送料 ③(1)100千円×173件(商工業関係)17,300千円 10千円×135件(農業関係)1,350千円 (2)200千円×94件 18,800千円 (3)(新規出店者等500千円+空き店舗所有者等500千円)×2件 2,000千円 (4)動画作成費用400千円 申請書送料60千円 (5)1,365千円(申請1件につき5千円×46件+時期作に取り組み面積1aにつ き600円×約1.892a)上限100千円 ④商工業者、農業者、セーフティネットを受けた事業者、空き店舗を利用する 新規事業者	R2.5.21	R3.3.31	41,274,640		41,274,640				新型コロナの影響で経営に打撃を受けている 事業者及び農業者を支援することができ、 事業継続につなげることができた。 また、空き店舗への出店に補助することで、 コロナ禍であるにもかかわらず、2件もの新 規出店があった。	R2 補正(地)	○
6	単	生涯学習 安心事業	生涯学習課	①新型コロナウイルス感染防止のため関係施設の3密を解消する。つるぎ町 就業改善センターの網戸の設置工事を行い、机、テント等の備品を購入す る。また町内3公民館に空気清浄機を購入する。 ②工事請負費、備品購入費 ③網戸設置工事589千円、会議用長机12.1千円×20台=242千円、テント160 千円×8張=1,280千円、空気清浄機77千円×4台=308千円 110千円×4 台=440千円 計748千円 ④地方公共団体	R2.9.14	R3.2.4	2,859,010		2,859,010				感染防止対策のための備品等を整備したこ とにより、利用者が安心できる環境の下で、 生涯学習活動を行うことができた。	R2 補正 (地)	◎
7	単	公共的空間 安心確保 事業	交流促進課	①(1)地域交流施設の「3密」を回避し、コロナ禍においても地域住民や来館 者等に対し、継続して安心安全のサービスを提供するため、現在のスペース を有効活用し、新しい生活様式に合わせた施設の改修を行う。 「道の駅貞光ゆうゆう館」に昇降機を設置することで、座席数を減らした2階レ ストランを3階まで使用でき、それに伴う改修工事及び飛沫対策の備品購入 等により、3密を回避した運営が可能となる。また、「つるぎの宿岩戸」及び 「ラ・フォーレつるぎ山」においても、感染症拡大防止対策として空調設備工事 や空気清浄機等の設置を行う。 (2)屋外は感染リスクが少ないことから屋外公園を利用する方が増加してい る。人と人の距離を適切にし、混雑を緩和するための感染予防のために屋 外の公園施設内に衛生設備を備えたトイレを設置する。 ②③ (1)小規模昇降機設置工事34,872千円 3階バントリー改修工事1,379千 円 空調設備工事999千円 照明工事1,085千円 空気清浄機購入1,140千円 (17台) 陳列台837千円(8台) 給茶器429千円(1台) 券売機1,364千円(1台) ペーカリーキャビネット737千円(1台) ショーケース1,045千円(1台) ネット販 売開設費100千円 机・テント等367千円 飛散防止用仕切版108千円 換気扇 121千円 非接触式検知器539千円(7台) (2)仮設トイレ設置工事2,406千円 仮設トイレ設置工事関連備品894千円 ④地方公共団体	R2.9.11	R3.3.31	48,421,856		47,974,570		447,286		道の駅貞光ゆうゆう館に小規模昇降機等を 設置することで、3密対策を行いながらも全 館を有効に使用することができた。 また、コロナ禍のため、屋外施設を利用す る方が多くなったが、衛生設備を備えたトイレ を設置することで感染防止対策が図られた。	R2 補正 (地)	◎
8	単	医療機関 感染症患者 受入促進 事業	半田病院	①公立病院として、コロナウイルス感染症患者を受け入れつつ、地域の中核 的医療機関として一般患者に対しても安定した医療サービスを維持するため に必要な設備やシステム等を整備する。 ②つるぎ町立半田病院事業会計に繰り出し、感染症患者受入及び院内感染 防止等に要する費用を交付対象経費とする。 ③婦人科健診台1台3,106千円、コロナ病棟ナース当直室エアコン2基717千円、 体温測定AIサーマルカメラ2台2,695千円、web面会システム1式729千円、病棟患者 用Pレボ2台252千円、温冷配膳(下膳)車1式7,809千円、臨床検査システム1式 16,830千円、給湯設備改修工事1式15,362千円、給湯設備改修工事設計監 理業務1式1,595千円、吸引器502千円、PACSサーバー1式3,918千円、3Z画像 サーバー1式3,300千円、ハルスオキシメータ34個860千円、フリーザー付き薬用保冷 庫1台253千円、消毒液1式517千円、医療用手袋1式609千円、産科病棟セン トモニシステム整備工事1,540千円 合計60,594千円 繰出金60,500千円 ④つるぎ町立半田病院	R2.9.11	R2.9.30	60,500,000		60,218,353		281,647		新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ 病院のため、施設の改修及び設備やシステ ムを整備して感染対策を強化したことによ り、一般患者にも安心して病院を利用して もらうことができた。	R2 当初 (地)	◎

No	補助 単 独	交付対象事 業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業実績(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					効果・検証	予算 区分	事業効果	
							総事業費 (実績額)	B 国庫 補助額 (円)	C コロナ交付金充当額 (円)	D 起債額 (円)	E 一般財源 (円)				F その他 (円)
9	単	サテライト オフィス開設 支援事業	まちづくり 戦略課	①新型コロナウイルスの影響で、多くの企業でテレワークや在宅勤務の導入や地方への進出などに目が向けられる中、サテライトオフィス等誘致施設の整備やコワーキングスペースの強化により、リビングシフトの推進や移住・定住促進、また関係人口の創出による地域課題の解決に繋げる。 ②不動産を購入し、サテライトオフィス等誘致施設として設計等を経て、修繕工事を行う。また、誘致のためのマッチングイベントに参加する。サテライトオフィスの誘致やテレワーク、ワーケーションにも利用するためのコワーキングスペースの機能を強化する。 ③誘致施設購入10,000千円、誘致施設設計監理委託料1,650千円、誘致施設修繕工事費22,480千円、PR動画出展費231千円、消耗品費10千円(施設用品代)、コワーキングスペース施設修繕費1,210千円、PR動画作成429千円、備品購入費734千円(カーテン250千円、机・椅子297千円、掃除機・IH調理器具62千円、照明器具125千円) ④地方公共団体	R2.9.11	R4.3.31	36,743,664		36,500,000		243,664		サテライトオフィス誘致施設の整備・コワーキングスペースの設備強化により、コロナ禍で一層のリビングシフトの推進や移住・定住促進、関係人口の創出が見込まれる。また、テレワークやワーケーション時の利用も促進された。	R2 補正 (地)	○
10	単	地域公共 交通支援 事業	まちづくり 戦略課	①(1)新型コロナ感染予防対策として既存の汲み取り式の貞光駅トイレを撤去し、新たなトイレとして便器の数を減らし使用面積を広くし、各便所に入口を設けることにより人を分離させて、なおかつ、多目的トイレを男子トイレと兼用することにより、人が密になりにくい仕組みにする。衛生面でも公共下水道への接続と手洗い場も共同の場所だけでなく各便所に設けて衛生面も向上させ、併せて新型コロナウイルス感染予防に取り組むこととする。 (2)新型コロナウイルス感染が拡大するなか、予防対策を行いながら公共交通を適正に運行するため、車両消毒による代替車の確保や3密を避けるための乗車人数の制限による運行車両の増便を早急に行う必要があることとする。 ②(1)JR貞光駅トイレの改修に係る費用 (2)コミュニティーバス車両2台購入費用 ③(1)設計費用 1,320千円、工事費用 11,235千円 (2)バス購入費 7,300千円(県補助1,162千円) ④地方公共団体	R2.4.10	R4.3.16	19,855,400		18,515,000		178,400	1,162,000	(1)貞光駅トイレの改修により、換気対策、衛生面の向上、便器数減など密集を避けることができ感染症対策が図られた。 (2)車両2台の追加により、感染者予防対策(3密回避による増便・車両消毒時の代替車の確保など)が可能となり、利用者に安全安心な地域公共交通の確保ができた。	R2 当初 (地)	◎
11	単	農林業未来 創造事業	産業経済課	①(1)感染症拡大防止を図りながら、農林業の雇用拡大と、広範な事業を展開する木材加工共同組合を補助する。 (2)感染症拡大防止に繋がる機械、施設を整備する木材加工共同組合を補助する。 ②補助金 ③(1)50,000千円木材加工共同組合 (2)17,808千円木材加工共同組合(県補助11,880千円) ④木材加工共同組合	R2.9.11	R3.8.11	67,808,000		55,928,000		11,880,000	コスト削減のモニタリングを実施し、本格的なコスト削減体制が確立できた。また、コロナウイルス対策として、接触機会の低減が図られる感染予防が大いに期待できるものであった。	R2 補正 (地)	○	

No	補助 単独	交付対象事 業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業実績(対象数、単価等) ④事業の対象(交付対象者、対象施設等)	事業 始期	事業 終期	A					効果・検証	予算 区分	事業効果	
							総事業費 (実績額)	B 国庫 補助額 (円)	C コロナ交付金充当額 (円)	D 起債額 (円)	E 一般財源 (円)				F その他 (円)
12	補	学校保健 特別対策 事業費 補助金	学校教育課	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ①学校再開にあたり集団感染のリスクを避けるために必要な経費を支援する。 ②学校保健特別対策事業の町負担分 ③新型コロナ対策衛生消耗品 133千円 ④学校設置者(つるぎ町)	R2.4.1	R3.1.26	133,000	66,000	67,000				学校における感染防止対策を行うことにより、安心安全を確保した教育活動が行えた。	R2 補正 (国)	○
13	補	学校保健 特別対策 事業費 補助金	学校教育課	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ①感染症対策を実施しながら児童・生徒の学びの保障をするための取り組みにかかると経費を支援 ②学校保健特別対策事業の町負担分 ③新型コロナ対策衛生消耗品 902千円 新型コロナ対策及び学習保障対策備品 3,522千円 ④学校設置者(つるぎ町)	R2.4.1	R3.3.12	4,424,049	2,212,000	2,212,049				学校再開にあたり、感染症対策に係る備品等を整備することにより、安心安全を確保した教育活動が行えた。	R2 補正 (国)	◎
14	補	公立学校 情報機器 整備費 補助金	学校教育課	(学校からの遠隔学習機能の強化事業) ①学校の臨時休業等の緊急時において、学校と児童・生徒とやりとりが円滑にできる環境を整備する。 ②公立学校情報機器整備費補助金のうち学校からの遠隔学習機能の強化事業 ③オンラインカメラ・マイク 20台購入経費 ④学校設置者(つるぎ町)	R2.9.12	R3.1.15	145,000	72,000	73,000				ICTを活用した遠隔・オンライン授業等の実践に向けた環境整備を図ることができた。	R2 補正 (国)	◎
15	補	公立学校 情報機器 整備費 補助金	学校教育課	(GIGAスクールサポーター配置支援事業) ①ICT化を進めるためにICT技術者を学校に派遣する経費を支援する。 ②公立学校情報機器整備費補助金のうちGIGAスクールサポーター配置支援事業 ③GIGAスクールサポーターの委託 2,225千円 ④学校設置者(つるぎ町)	R2.8.22	R3.3.18	2,225,000	1,112,000	1,113,000				専門的知識を持ったGIGAスクールサポーターが、学校のICT導入を技術的に支援したことで、混乱することなく導入を円滑に進めることができた。	R2 補正 (国)	◎
16	補	教育支援 体制整備 事業費 補助金	学校教育課	(補習等のための指導員等派遣事業) ①新型コロナウイルス感染症対策の強化を図ることで純増する教師等の業務をサポートし、教師が子供の学びの保障に注力できるようにする。 ②スクール・サポート・スタッフ報酬費 ③502千円(560時間×897円3名) ④町立小学校2校、町立中学校1校	R2.11.1	R3.3.31	502,320	111,000	168,320		223,000		教育支援として、スクールサポートスタッフを派遣することにより、教員の負担となっていたコロナ対策の消毒作業等が行われ、教員が本来の教育活動に専念することができた。	R2 補正 (国)	◎
17	補	学校保健 特別対策 事業費 補助金	学校教育課	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①教職員の研修及び児童生徒の学びの保障の取り組みに必要な経費を支援する。 ②学校保健特別対策事業の町負担分 ③新型コロナ対策衛生消耗品 322千円 新型コロナ対策及び学習保障対策備品 2,179千円 ④学校設置者(つるぎ町)	R2.12.15	R3.3.31	2,500,587	1,250,000	1,250,587				学校教育活動の継続のため、感染症対策に係る備品等を整備することにより、安心安全を確保した教育活動が行えた。	R2 補正 (国)	◎